

市政報告 514

Vol.14

高知市議会議員
自由民主党・無所属の会

藤川ゆうすけ

35歳・2児の父

挑戦から実行・実現へ。

高知の
今を見つめ、
このまちの
未来をつくる。



暮らしの現場から、次の一手を。

9月定例会では、物価高対策を含む補正予算、令和7年度決算、客引き防止条例、消防広域化を審議。
市民生活への効果と将来負担を、現場目線で確認しました。

第514回
高知市議会定例会

会期
9月8日～9月30日
23日間

個人質問
17人

市長提出議案
27件

議員提出議案
2件

一般会計補正
19億4,800万円

補正予算は、暮らしにどう届く？

 物価高対策
4.2億円
理美容・クリーニング・公衆浴場、
商店街・中小企業等を支援

 安全・安心
5.9億円
防災備蓄、施設整備等

 子ども・子育て
0.1億円
学校図書等

 災害復旧
0.4億円
がけ崩れ住家災害復旧等

▶ 物価高への緊急支援と、将来に必要な公共施設整備を同時に進める補正予算

令和7年度 決算審議

使った額
1,629億9,921万円
一般会計歳出

残った額
4億3,518万円
実質収支の黒字

基金へ
2億2,000万円
財政調整基金に積立

市債残高
1,931億円
前年度から約60億円減



⚠ ただし、単年度収支は1億926万円の赤字

黒字だけで安心せず、歳入確保・事業見直し・公共施設マネジメントを継続

客引き防止条例

安心して歩ける中心市街地へ



禁止する行為
客引き・客待ち・勧誘
対象は全業種

指導 > 勧告 > 命令 > 氏名等公表 > 5万円以下の過料

禁止区域・禁止行為
R8.10.23施行

命令・公表・過料等
R9.4.1施行

実施調査
17時点・5日間
延べ85人

強引な声掛けを抑え、誰もが安心して通行できる環境へ

条例でどう変わる？

禁止区域内では、業種を問わず客引き・客待ち・勧誘を禁止。
指導・勧告・命令を経て、氏名等の公表や5万円以下の過料へ。

 全業種が対象
飲食・小売・
サービス業など
すべての業種が対象

 段階的に是正
指導・勧告・命令を
経て、氏名等の公表や
5万円以下の過料

 安心して歩ける
環境へ
強引な声掛けのない
安全で快適な
まちを実現

消防広域化 特別委員会中間報告

必要性は共有。だからこそ、急がない。

現状と課題

 人口減少
 消防職員の確保
 指令システム更新

期待される効果

 消防力の維持・共同運用

今後の検討条件

01 市町村・議会・
消防職員の理解

02 財政負担・人員配置・
指令体制の明確化

03 離脱時は
再シミュレーション

今後の確認ポイント

広域化の必要性は共有しつつ、財政負担・人員配置・指令体制を
具体化。条件が整うまで、法定協議会・広域連合を拙速に進めない。

 財政負担
初期費用・運営費・
市の将来負担を
精査

 人員配置・指令体制
消防職員の配置・
指令体制の在り方を
具体化

 離脱時は再検証
将来の状況変化に応じ
離脱時の影響を
再シミュレーション

市民の生命・財産、消防力、職員の将来、負担の妥当性を最優先

第514回 高知市議会定例会 個人質問報告

市民の声を、市政へ。

質問から、実行・実現へ。

令和8年9月11日

高知の
今を見つめ、
このまちの
未来をつくる。

質問はこちらから
ご覧いただけます



質問して終わりではなく、制度・予算・実施まで追いつけます。



市民の声



現場確認



議会質問



行政答弁



進捗確認



実現へ

5つの質問テーマと、暮らしの未来

01

地域未来戦略

地域資源を、
雇用と所得へ。



市民の課題

地域の強みが、
売上・雇用・所得へ
つながる具体策が
必要。

行政答弁

地域資源と産業特性を整理し、
庁内横断・関係機関との連携で、
できるだけ早期の戦略取り
まとめを目指す。

暮らしへの効果・次の一手

事業者数だけでなく、
売上・新規取引・雇用・観光消費
まで継続検証。
弘化台市場も成長拠点へ。

02

高知市卸売市場 〈弘化台〉

市民の台所を、
次の100年へ。



施設老朽化、過法改造・
駐車、取扱量減少への
対応が必要。

監視カメラや警察相談を活用
してルールを徹底。
カツオ漁船誘致は、関係者協議
を進め予算化を検討。

市場を食・観光・雇用の拠点
として再生。
漁船・飲食店・観光をつなぎ、
取引と来場を増やす。

03

南海トラフ地震対策

被害想定を、
実効性ある備えへ。



復興計画だけでなく、
発災前の投資・財源・
実施時期を具体化する
必要。

津波浸水が特に想定される
市内8地区で計画を策定。
概算事業費、財源、住宅耐震化、
道路啓開、避難環境を検討。

被害を減らす事前投資と、
発災後の迅速な復旧を同時に
前進。
地域別ロードマップを求める。

04

公立学校体育館への 空調整備

教育と防災、両面から。



高知市立小中学校の
体育館空調設置率は0%。
猛暑時の授業・部活動と
避難所環境が課題。

特別支援学校モデル事業で、
設備方式・費用・電源・
運用コストを検証。
整備手法を比較する。

子どもの熱中症を防ぎ、
災害時は命を守る避難所へ。
全体整備の計画と着手を
一日でも早く。

05

部活動の地域展開

学校・地域・行政で、
活動機会を守る。



指導者、活動場所、
送迎、保護者負担を
どう支えるか。

令和9年4月から認定地域
クラブ制度の準備を進め、
令和11年4月から休日の
新たな体制へ移行。

住む地域や家庭状況に
かわらず活動できる仕組みへ。
費用・送迎・場所を早期に
明示する。

PROFILE

藤川ゆうすけ | 35歳・2児の父

- 高知市出身
- 高知県庁 土木技術職 約10年
- 危機管理・防災・社会福祉を担当。
- 高知市議会議員 1期目
- 自由民主党・無所属の会 副政調会長・広報部長
- 経済文教常任委員会
- 南海地震等調査特別委員会
- 消防広域化調査特別委員会
- 高知市消防団 団員

これからも、現場から。

議会で取り上げることがゴールではありません。
答弁を起点に進捗を確認し、制度と予算の具体化まで
粘り強く追いつけます。
小さな声も、ぜひお寄せください。

高知市議会議員

藤川ゆうすけ

藤川ゆうすけの活動を
こちらからぜひご覧下さい！



TEL 090-6885-6941

MAIL fujikawa.yusuke2022@gmail.com

WEB fujikawa-yusuke.jp